

## 能登半島地震

### 現地調査に被災 状況共有アプリ

オリコンサル

オリエンタルコンサルタ  
ンツは能登半島地震の被災  
地で実施した現地調査支援  
で、被災状況を記録し複数  
人で共有できるスマートフ  
ォンアプリ「SOCOCA  
（ソコカ）」を活用した。

従来は道路変状などを把握  
して維持管理に役立ててい  
たアプリを、現地被害調査  
の記録用に改良。調査対象  
の分類や被災度合い、メモ  
などを入力し、管理者であ  
る地方自治体などの職員と  
共有した。

ソコカは同社のグルー  
プ会社リサーチアンドソリュ  
ーションが開発した。スマ  
ホで被災箇所の写真を撮影  
するだけで位置情報が取得

でき、損傷状況をアルタウ  
ン形式で選択すると、地図  
上に対応状況の色分けフラ  
グが表示される。損傷諸元  
位置図、現地写真などの帳  
票出力が可能で、インフラ  
管理者などのさまざまな関  
係者と情報共有できる。

オリエンタルコンサルタ  
ンツは日本アセットマネジ  
メント協会（J A A M、小  
林潔司会長）、石川県能登  
町の「社会インフラのア

セットマネジメントに關す  
る協定書」に基づき、被災地  
の現地調査支援を行った。  
J A A M 関係者がリレー形  
式で現地に入り、同社は1  
月7～14日に先遣隊として  
能登町職員と一緒に被災状  
況の把握を行った。

現地調査に当たっては、  
同社だけでなく町職員と現  
地被災状況を随時共有でき  
るツールとしてソコカを現  
地被害調査用に改良。入力

項目は構造物の分類、被災  
度合い、メモなど最小限と  
し、位置情報と写真を記録  
できる仕様とした。

同社の後に調査に入った  
第2班以降のJ A A M 関係  
各社もソコカを継続して活  
用した。オリエンタルコン  
サルタンツは災害調査での  
ソコカの有効性を確認した  
ことで、今後は通常時も災  
害時も利用できるツールと  
して展開していく考え。